

Information8



わんちゃんの皮膚について

実は…**保湿**が大切な事ご存じでしたか?!

皮膚の構造からシャンプーまでご説明します!!

<皮膚の構造>

皮膚は、表皮・真皮・皮下組織の3つから構成されています



人はほとんどの毛を失ったため**表皮が分厚く**なり

犬は被毛で覆われていたため逆に**表皮が人の約 1/6 程薄く**なっています。

そのため**“刺激や乾燥に弱いデリケートな皮膚”**なのです。

乾燥による外からの刺激に対する防御力が低下し

アレルギーが侵入してしまい病気を引き起こす原因にもなります。

ここで**保湿**が大切になってきます。

保湿をすることで、角質細胞の隙間を埋められ

外部の刺激（例えば夏の**紫外線!!!!**）から守ることができます!!



<シャンプーのやり方>

お湯の温度は35度～37度。手を当てて温度チェックは欠かさず！
皮膚にかゆみのある子はぬるめの温度（25度辺り）がいいですよ♪
顔周りは苦手な子が多い…スポンジを使うとやりやすい!

① 前洗い

皮膚や被毛についている汚れを落としましょう

☆Point☆

シャワーヘッドを近づけると毛の根本まで浸透して汚れが落ちる

鼻に水が入らないよう注意



② シャンプー

泡で洗いましょう

指の腹や手の平でなじませるように洗い、爪を立てすぎないように注意

泡タイプのシャンプーもあるよ♪

☆Point☆

かゆい所を先に洗いシャンプーを浸透させるイメージで！

肛門周り・足先・肉球の間など汚れが多いのでしっかり洗いましょう

③ すすぎ

頭から下に向かって流し、ぬめりを取りましょう

キュキュツと被毛がきしんだら OK サイン！

☆Point☆

シャワーヘッドを遠ざけるとシャンプーが落ちやすい

シャンプーが残っていると皮膚炎などの原因になるので注意

④ タオルドライ+ドライヤー+ブラッシング

余分な水分は絞ってから拭きましょう

ぬるめの温風で乾かし、肉球の間や脇など乾きにくいのでしっかりと!!

☆Point☆

乾きチェック&皮膚のほてりを落ち着かせる

最後の確認で冷風に！サラサラになっているはず♪

ここで**保湿**を!!
このブラシは痛いので先が尖っていない物を!!



保湿と正しいシャンプーをして皮膚のバリア機能を UP!!

★ お気軽にご相談ください。

